

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

コナミホールディングス株式会社（証券コード:9766）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

■格付事由

- (1) 当社は、デジタルエンタテインメント事業（モバイルゲーム、家庭用ゲーム、カードゲームなどの制作・販売）、健康サービス事業（スポーツクラブの運営）、ゲーミング&システム事業（カジノ施設向け機器などの製造・販売）、アミューズメント事業（アーケードゲーム、遊技機の製造・販売）をグループ会社で行う純粋持株会社である。多くの事業分野で業界の有力企業に位置付けられており、多数の収益源を持っている。当社グループには強い経営の一体性が認められることから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) モバイルゲームの好調により当社は高水準の利益を維持している。モバイルゲーム市場が拡大傾向にある中、家庭用ゲームなどで育んだ有力 IP を、モバイルゲームで積極的に活用している。これらの有力 IP を背景に複数のヒットタイトルを生み出している。その他の事業についても一定程度の利益を確保している。モバイルゲームを中心に多様な収益源を持ち、当面は業績が底堅く推移すると見られる。財務内容も良好な水準を維持している。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。ヒットビジネスの性質上、売上が変動する可能性もあり、今後モバイルゲームの安定性がさらに向上していくのか、収益源となるタイトル数や海外市場への展開を注視していく。
- (3) 18/3 期の営業利益は 450 億円（会社計画）と増益になったもようである。19/3 期についても、モバイルゲームを中心に、底堅い利益を確保すると見られる。デジタルエンタテインメント事業では、国内市場で「実況パワフルプロ野球」や「プロ野球スピリッツ A」、世界市場で「遊戯王 デュエルリンクス」などのモバイルゲームが堅調である。これらのタイトルを適切に運営することにより、今後も利益貢献が期待できる。健康サービス事業では、直営施設の退店などにより減収傾向にある中、「エグザス」をリ・ブランドし、小型店舗の出店を開始した。ゲーミング&システム事業では、北米、オセアニアを中心にライセンスを取得しており、カジノ・マネジメント・システムの提供も行っている。アミューズメント事業では、市場環境は厳しいものの、アーケードゲームと遊技機の集約によりコスト削減を進めている。
- (4) 18/3 期第 3 四半期末の親会社所有者帰属持分比率は 71.5%で、手元流動性も潤沢であるなど、財政状態は良好である。13 年 6 月に取得した旧銀座テアトルビルの跡地について設備投資が見込まれるが、財務に大きな影響を与える水準ではない。当面、財務に影響が生じるような多額の設備投資や投融資は想定されず、良好な財政状態を維持すると見られる。

（担当）本西 明久・山田 雄一

■ 格付対象

発行体：コナミホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2013年9月3日	2018年9月3日	0.527%	A
第11回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2013年9月3日	2019年9月3日	0.659%	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018年4月5日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：本西 明久
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） コナミホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であっても、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コーポレート債等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル